

伊藤達也さんのこれまでの歩み

1961年生まれ
昭和36年7月6日
かに座 O型

趣味：野球・映画鑑賞
座右の銘：「成功の要諦は成功するまで続けることにある」
家族：妻と一男一女の四人家族

●生い立ちから政治を志すまで

調布第一小学校、調布中学校を経て、慶大法学部卒業

- 多摩川の河原でボールを追いかける野球少年。中学受験の失敗を癒してくれたのはやはり野球だった。
- 高校では甲子園を夢見て野球部に入学するも、母親が病に倒れる。看病のために退部。多くの人に支えられたが、3年後に母を失う。

松下政経塾へ

- 医療や福祉政策の大切さと制度の矛盾に向き合い、松下政経塾の門をたく(5期生)。政治への志を固める5年間となった。
- カリフォルニア州立大学院へ留学。税金の使いみちに敏感な米国民の意識の高さが民主主義を支えていることを痛感した。一方、お金持ちかどうかで受けられる医療の中身が違うという米国の抱える「格差」を目のあたりにする。
- 夫婦でピザ店をはじめた。中古機材をかき集めてなんとか開店。生まれたばかりの長男を背負い、資金繰りに負われながら毎日ピザを焼いた。この時の経験が、いまの政策立案につながっている。

●政治家として

- 1993年 衆議院議員総選挙で初当選(以来、連続5回当選)
- 2000年 通商産業事務次官、党経済産業部会長、衆議院環境委員会理事
攻めと守りの構造改革を訴える。IT・中小企業政策、環境問題などに取り組む。
- 2002年 内閣府副大臣(金融担当)、『03年(経済財政政策を兼務)
- 2004年 金融担当大臣
長期化する不良債権問題を終結させるべく、様々な抵抗にもひるまず金融再生プログラムを推進した。今やこれが米国をはじめ世界の金融再生のモデルとなっている。
- 2006年 政調会長補佐として、上げ潮政策(経済財政一体改革)を起案
その他、党総務、幹事長補佐、対外経済協力特別委員長、地域再生調査会長、衆議院決算行政監視委員会筆頭理事、財務金融委員長、予算委員会理事など
- 2007年 松下政経塾で「現代政治講座」を受け持ち、後進の指導にあたる
- 2008年 内閣総理大臣補佐官として、社会保障を含む経済社会構造改革を担当
- 現在 衆議院国家基本政策委員会理事、自民党中小企業調査会長、e-Japan 特命委員会幹事長、松下政経塾評議員
超党派議員連盟「せんたく」事務局長



松下幸之助氏

一円の税金の重みをしれ

松下幸之助は「国家の運営を担うものは、一円の税金の重みをしれ」と言った。その重みを知らない政治家が国家運営に当たると税金を利権の分捕り合戦の手段とするだけでなく、ムダにつかう。そして結局は、財政が肥大化し、国民に増税を押しつけることになる。この教えが原点となり、徹底的な歳出削減と成長戦略を柱にする上げ潮政策立案へつながっていった。



TBS テレビ「みのもんたの朝ズバッ！」生出演



松下政経塾にて。連続講座を持ち後進の指導にあたる



衆議院議員 元金融担当大臣



伊藤達也さん

日本力強化宣言。

金融担当大臣や総理大臣補佐官(社会保障担当)として、大胆な制度改革を実現してきた伊藤達也さんに、日本力を強化するビジョンを伺います。

●日本力を弱体化させる古い政治と霞が関

私は日本人の力を信じています。しかし、今の日本は素晴らしい技術力、一人一人の潜在力を生かしきれていない。それを阻害しているのは、既得権益に縛られた古い政治や省益を超えられない霞が関なのです。

●しがらみ政治で世の中は進化しない

私は、役人出身でも、組合出身でもありません。地盤を受け継いだ二世、三世議員でもありません。しがらみにとらわれず、大胆なメスを入れることができるのは、みなさんの中から、市民の代表として国会へ送っていただいているからです。初当選以来、私は常に古い政治や官僚主義と闘ってきました。金融再生、郵政民営化、財政の構造改革。どれも困難な課題でしたが、同志を得て改革をやりぬいてきました。

●世界をリードする日本の青写真

私が考える改革とは単なる合理化とは別のものです。地球温暖化や高齢化といった世界的課題を解決するフロントランナーになることで、日本が成長するエネルギーを取り戻したい。そして、安心して暮らせる日本型の社会保障制度を築き、地域の知恵や現場の力を活かす分権型社会を確立します。具体的な処方箋の準備は出来ています。今、必要なのは政治の強い意志です。私は、何としてもこの難局に挑戦し、活力と誇りある日本を切り拓いていきます。

これが伊藤達也の「日本力強化宣言」です。

衆議院議員 伊藤 達也

自由民主

LIBERAL & DEMOCRATIC

発行所
自由民主党本部
郵便番号100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京03(3581)6211(代表)
振替口座 東京00180-1-19518
定価1部105円(税込)
〈毎週火曜日発行〉

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

自由民主党東京都第22選挙区支部
〒182-0024 調布市布田1-3-1 ダイアビル2F
TEL:042-440-2268 FAX:042-481-5992

伊藤達也さんの充実ホームページもクリック!

H P <http://www.tatsuyaito.com/>
メール tatsuya@tatsuyaito.com

伊藤達也 検索



伊藤達也さん 5期目の実績と挑戦

「活力と誇りある国づくりへ」

医療・介護・子育て支援の充実

社会保障を担当する総理補佐官として、全国の医療や介護、福祉、子育て支援の現場を丁寧に歩き、厳しい現状を見てきた。さまざまな課題のうち緊急に対応すべきもの、つまり、たらい回しのない救急医療体制の整備、手厚い介護を担う人材育成と待遇改善、保育サービスの拡充など次々に実現した。

医師確保などのための地域医療再生交付金の創設

子宮頸ガンや乳ガン検診の無料化

介護職員の待遇改善と16万人分の介護施設の集中整備

全国15万人、東京15000人分の保育サービス整備

就学困難な高校生・大学生の授業料減免、奨学金拡充

新型インフルエンザ対策として世界最高水準のワクチン生産体制整備



「グループホーム方南」(杉並区)



杏林大学医学部付属病院「ものわずれセンター」(三鷹市)

伊藤元金融相、社会保障改革の司令塔に

成長と福祉、両立挑む

「コースな人ひと」

伊藤元金融相は、社会保障改革の司令塔として、成長と福祉の両立を挑む。...

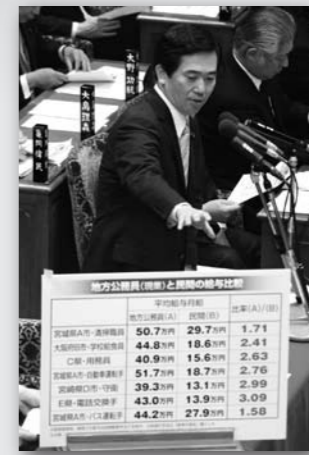
▲日本経済新聞

▶地域子育て支援拠点「どろっぶ」(神奈川県)



一方、将来の負担を考えると、社会保障制度の効率化にも取り組まなければならない。現在、医療や介護、福祉などに約90兆円かかっている費用が15年後には150兆円まで増加する。これをどう財政的に負担し安心できる社会保障制度を再構築することができるかに知恵が問われている。その方向性は総理補佐官として担当した社会保障国民会議の中で具体的な提言としてまとめた。制度のムダ、ムラを正し、ムリを是正していく中で、効率的な仕組みづくりに挑戦したい。

議員定数削減&公務員制度改革



予算委員会で官民給与格差の実態を指摘

民間で厳しいリストラ、賃金カットなどが行われている。今、政治や行政は率先して身を削らなければならない。議員定数の削減、一院制の検討ならびに公務員制度改革の本丸である給与法に切り込む。国家経営のあり方を変え、国の本来行うべき業務を限定し、それ以外は道州・市町村に移管する道州制を導入する。

最先端のIT社会へ

IT政策や年金記録問題に取り組んできた経験を生かし、日本が世界に対してリーダーシップを発揮できるIT戦略を描いていく。また、お役所仕事を変え、真に行財政改革に資する電子政府を構築する。

ODA改革

政調会長補佐として政策金融改革を進め、国際協力銀行(JBIC)の「円借款」、外務省の「無償資金協力」、JICAの「技術協力」の3つの機能を一元化した。07年10月、世界銀行に次ぐ規模の援助実施機関、新JICAが誕生した。



カンボジアの地雷撤去視察

景気回復に全力

●中小企業政策の責任者として

党の中小企業調査会長として多くの生の声を聞いてきたが、受注が5割も6割も減少するなど、今は平時ではなく有事であるという認識で不況対策に取り組んできた。

●雇用対策、資金繰り支援

まずは雇用対策として、業績悪化でも雇用を維持できるよう、事業者へ貸付金等の一部を助成する雇用調整助成金を実施した。全国6万社以上に利用され、250万人の雇用の安心につながっている。資金繰り支援としては、信用保証などを通じた30兆円規模の対策などを実施した。さらに中小企業の研究開発にも思い切って支援を拡充した。

●アジアをリードする日本へ

「100年に一度」を変化のチャンスと捉え、世界に先駆けて戦略分野を育成していく。「環境技術、健康長寿、地域・現場力」の3分野に資源を集中投下し、成長にともなう雇用確保と高齢化対応など社会保障基盤の安定を目指したい。

金融再生

バブル崩壊後、日本の金融システムが大きく揺れた時期、金融担当大臣・副大臣として3年間にわたり金融行政を担当。難しい課題を乗り越えて金融システムを安定させた。その後も海外の当局と連携し、日本の経験を伝えてきた。

FT Companies & Markets

Japan's bad-loan crisis is over, says banking regulator

英国ビジネス紙「フィナンシャルタイムズ」一面に、日本の不良債権危機の終結を宣言する大臣として大きく取り上げられた。

FT(The Financial Times)

改革派知事と連携

橋下知事、東国原知事など、改革派首長等と連携する超党派の議員連盟「せんたく議連」を発起人として立ち上げた。「地域社会」「生活者」「環境」を起点に、これまでの中央・地方の仕組みや政策のあり方を根本から問い直し、「政策を競い合う政治」を実現していきたい。



せんたく議連発足式